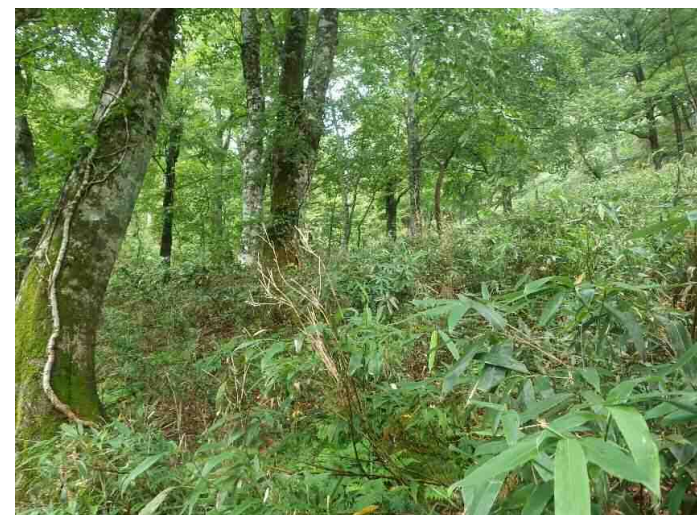


## 氷ノ山・三の丸生物群集保護林

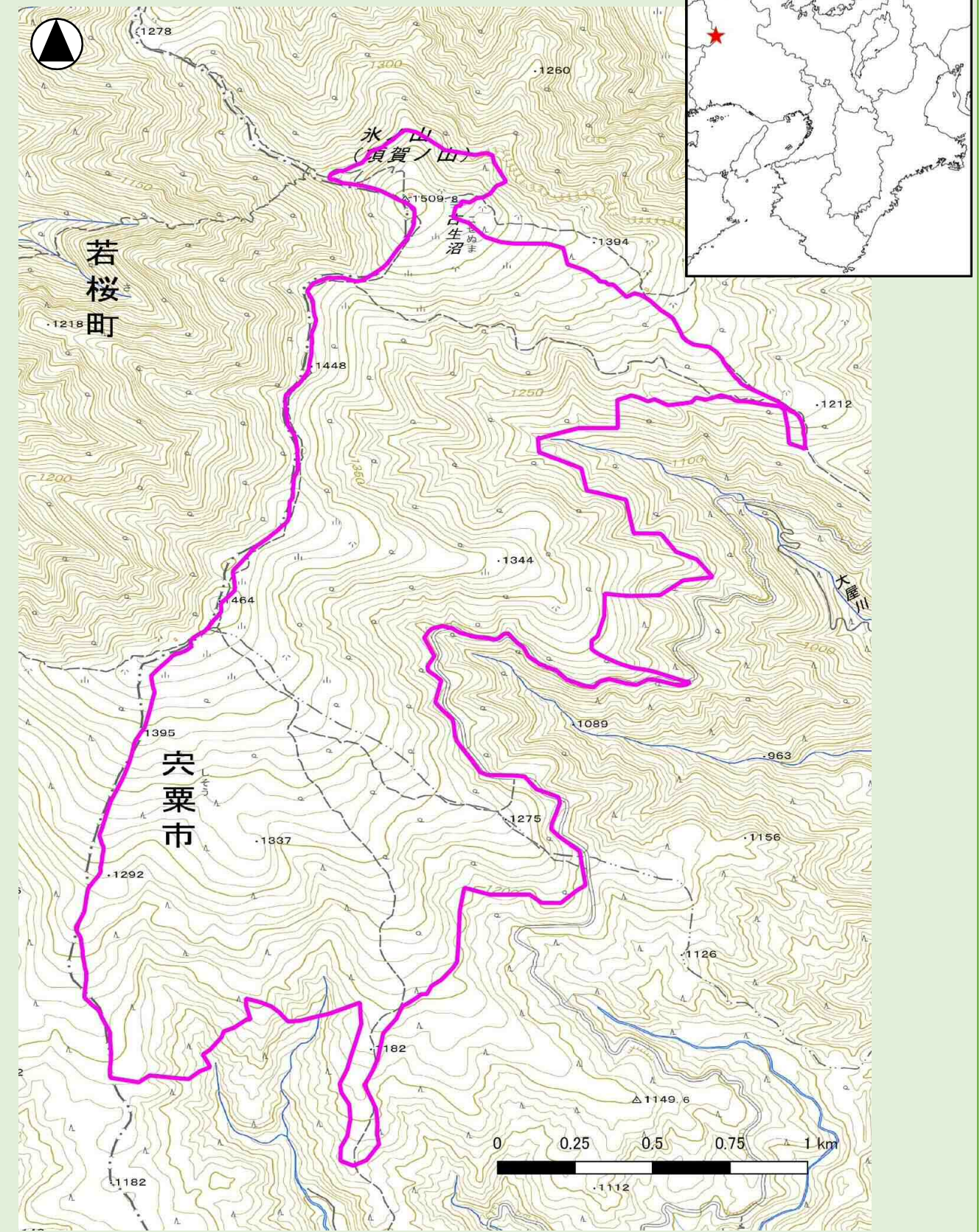
管轄森林管理局・署	近畿中国森林管理局・兵庫森林管理署
所在地・面積	兵庫県宍粟市、養父市 ・ 384.85ha
設定年	平成5年4月1日設定、平成30年4月1日再編に伴う名称変更及び管理方針書設定、令和元年4月22日保護・管理及び利用に関する事項変更、令和2年3月24日面積増
保護林の概要	<p>当該区域は、兵庫県内で最も多く原生的自然植生が残存している地域である。</p> <p>植生帯としては冷温帯落葉広葉樹林帯に属し、概ね標高1,400m以上は風衝草原となっており、チシマザサ群落やキャラボク、コケモモ、コメバツガザクラなどの高山性の植物が生育している。それ以下は林床にチシマザサをもつ日本海型ブナ林の特徴を有した、ブナ自然林が分布している。</p> <p>このように氷ノ山には西日本でも有数の規模のブナ自然林が残存し、高山植物や古生沼にみられる北方系の湿地植生など様々な種が生育していることから、学術上からも自然景観の上からも貴重となっている。</p>



### モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林タイプの分布等調査、樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、野生生物の生息状況、山火事等災害発生状況調査、病虫獣害・気象害発生状況調査、利活用実態調査、管理体制実態調査
結果概要	<p>クロモジブナ群集の森林は現状において原生的な天然林が維持されているが、標高1,300m付近より標高が低くなるにつれ、ササ層にニホンジカの食痕が目立つようになった。また、谷部の緩傾斜地の一部において、過年度より低木層及びササ層が衰退している状況も確認され、群落の維持・更新への影響が懸念される。</p> <p>これらのことから、当該保護林はニホンジカによる森林被害が拡大しつつある地域と判断される。</p>

### 氷ノ山・三の丸生物群集保護林 位置図



### 保護林内での注意事項

- ★貴重な植物群落の保護にご協力ください。
- ★植生の荒廃防止のため、歩道を外れて歩かないでください。
- ★許可なく動植物の捕獲及び採取をしないでください。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。